

原稿校了後の前兆変化について

ハヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254  
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続特殊前兆 現況報告 9/4±に発生となるか、または新規極大出現か

No.1778前兆関連の前兆変化並びに解析につきましては、E-mail or FAX で日々配信しております地震前兆観測情報では、逐次報告しておりましたが、HPでの更新は遅くなりましたこと、また詳細内容は省略させて戴きますこと、お詫び申し上げます。お許し下さい。

さて、No.1778地震前兆の第17ステージ認識前兆群は右図のとおり動向を示しています。最終認識極大でありました 8/9極大に対する前兆も終息した可能性有。この関係は 9/4±を示します。

また火山性前兆の関係も熊本地震前兆を参考に、9/2, 9/3 ±を示す関係が複数認められます。

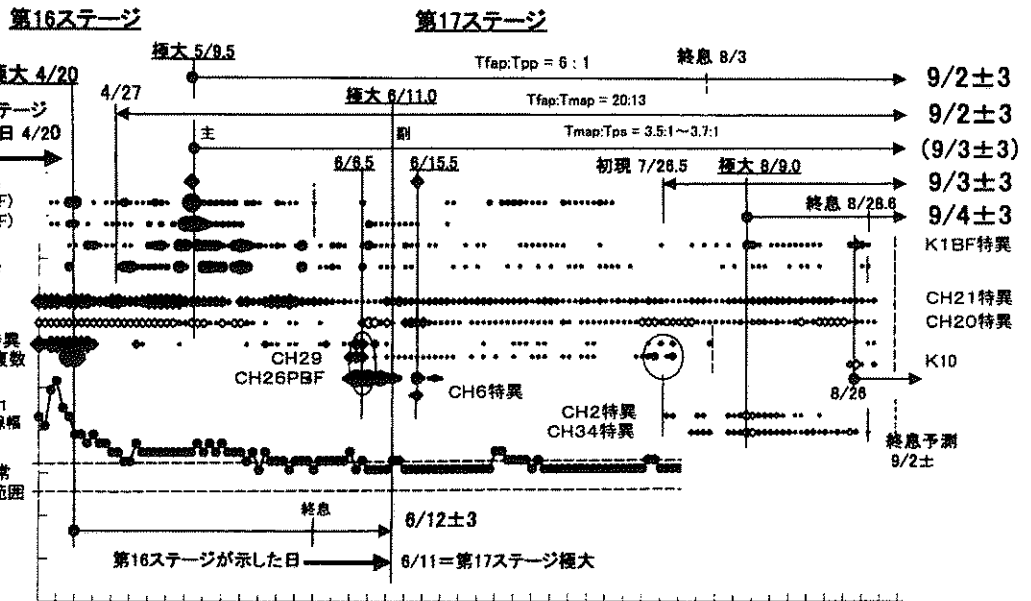
右図の上=地震前兆 下=火山性前兆 双方共に現在の認識が仮に正しい場合は、9月4日±1を示しています。

8/25午後～8/26午後迄の期間、高知観測点のK10 に顕著な特異状態が出現。8/26～27にK11にも特異が顕著でした。現在はK1もK10も正常静穏基線を記録中です。8/26に小極大出現の可能性有。高知観測点は電源トラブル並びにAD変換器故障のため、欠測があります。このため、K10 特異の初現が不明。本日現在全観測装置で前兆が継続出現しているのは、CH20(微弱)、CH21(特異)です。この二つの観測装置の特異前兆が完全終息していないのは、

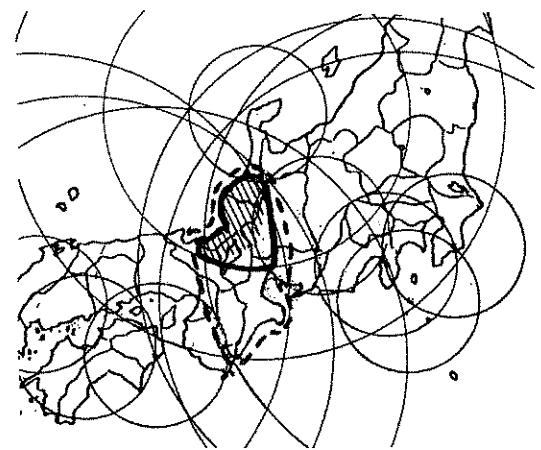
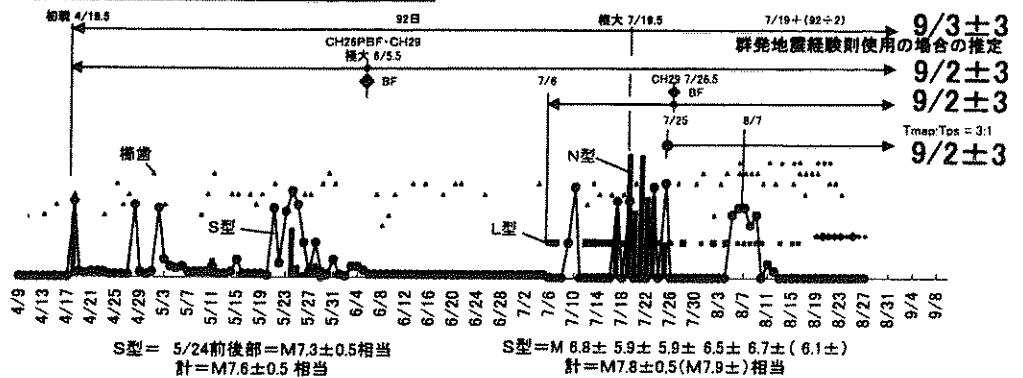
- ①8/26 -小極大出現の影響。9/4を示す場合= 9/2に前兆終息の可能性有。
- ②現在認識の示す 9/4±は発生日ではなく、新規極大又は新規前兆の可能性。の二つの可能性が考えられます。

9/3段階でCH20, CH21 前兆が継続出現している場合は、9/4 ±発生の可能性は否定され、新規極大又は新規前兆出現の可能性が示唆されることとなります。但し、9/2 夜までに終息した場合は 9/4 又は 9/5発生となる可能性は否定できません。HPの更新の方は間に合わない可能性があります。

仮に 9/4or9/5 に対応活動発生の場合は、火山性前兆N型が群発経験則で調和します。N型前兆は複数日顕著に出現した場合は、過去例では全て火山噴火に至っています。しかし今回は群発経験則で調和する場合は、噴火に至らず、群発的に大型地震が発生する可能性の方が考え易い状況です。9/4±に対応地震発生が無く、前兆継続の場合は再考し、続報させて戴きます。



火山帯近傍地殻地震・火山前兆



- ◆推定領域=右図太線内領域
- ◆推定規模=M7.8 ± 0.5 (群発的地震活動の可能性有)
- ◆推定時期= 9/4or9/5 但し新規前兆出現の場合は、発生はより先。再考し続報。
- ◇浅い陸地地殻地震
- ◇AM9:00±1 又は (PM18:00±3)